

京都府スキー選手権大会 京都府民総合体育大会スキー競技会

G S 第 1 戦、S L（野沢地区）競技説明

1. コースインスペクションについて

- * ビブを正しく着用し、スタート地点からゴール地点へインスペクションすること。
- * タイムテーブルに注意すること。

2. スタートインターバルについて

- ・ G S 競技 スタートは電子音でインターバルは 30 秒とする。
- ・ S L 競技 スタートはレディーゴーの合図で行う。

3. 選手が止まった後、継続禁止。

4. 棄権者の「空スタート」は行わないので、出走時刻に注意すること。

5. ストックの 2 度突きは禁止する。

6. 競技中のコース整備について

随時行う。雪の状況によってはコース内に硬化剤を使用することがある。

7. 計時について

電気計時装置で計測する。

8. 記録の仮発表及び公式掲示

仮発表・正式発表はゴールの速報板で行う。

9. レースの不正行為及び計時に対する抗議時間について

仮タイム、失格の発表後 15 分以内とする。

10. 救護

応急処置は原則としてパトロールハウス医務室にて行う。

11. 途中棄権者

途中棄権する者は継続して競技を行うことなく、ビブをはずし途中棄権の旨を旗門審判員に伝えてコース外に出ること。

12. その他

* 体調管理について、参加者（選手・役員）は、個人及び参加チームの責任において十分な対応をとること。具体的には、上部団体からの指示も踏まえつつ、京都府スキー連盟Web サイトに掲載する場合があるので、確認すること。その他、行動・宿泊方法など政府・教育機関のガイドラインを遵守すること。TCM への参加者は必要最小限度の人数とすること。

* 監督・コーチは身分を明示できる腕章等を着用し、スタート係役員の了解を得てインスペクションに入ることができる。

* 選手・監督・コーチは競技中にコース係の指示のもとコース内に入ることができる。

* 本大会は、京都府スキー連盟のポイントレースとする。

* マテリアル及びドーピングについては、個々の選手がルール遵守に努めること。

なお、全日本選手権（たいら地区での国スポ予選中止時、本 G S 競技を予選選考データとするので、国スポ希望も含める）の選手選考を希望する選手は、必ず新しいルールに適合した用品（回転半径（R）、長さ）で出場し、会場でマテリアルチェックを受けること。

* 競技ルールは S A J 最新版に準じる。ただし、本大会の競技規則が優先する。

* ヘルメット・スーツについては、ルールに適合したものを使用する。

* 競技エリアは禁煙とする。

* 表彰式は行わない。